

ま 真室川町

議会だより

2023年1月25日

No. **161**



少年ジャイアンツ元旦マラソン

年頭のあいさつ	2
物価高騰対策に商品券事業を実施	3
一般質問（5人登壇）	5
議会報告会	10
臨時会・陳情・議会の動き	13
町長へ申し入れ	14
戦没者追悼式にて「平和の誓い」	15
町民の声	16

真室川町LINE公式アカウント
@mamurogawa_town

暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

謹賀新年



明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、年頭にあたり、町議会を代表しあいさつを申し上げます。町民の皆様には、平素より町議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、隣国による威嚇行為が頻発し、ウクライナ情勢などの影響による燃料高騰、物価高騰、円安など、生活に大きな負担となっておりますが、議会としても町民の皆様が安心して暮らしていただけるよう、こうした経済状況に迅速に対応してまいります。一方、明るい話題として関係各位のご努力により、昨年十一月に東北中央自動車道「新庄真室川インターチェンジ」が開通しました。通勤時の交通渋滞回避や救急医療にも大きな役割を果たすとともに、首都圏との直結により、今後当町への交流人口拡大・経済活性化にも大いに期待されるところです。本年も、議員一同町政の発展に全力で邁進してまいりますので、皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

真室川町議会議長 佐藤 一廣

本年もよろしくお願いいたします



小松健弥 議員 姉崎園子 議員 平野勝澄 議員 小松正弘 議員 舟生源氏 議員
佐藤 正 議員 高橋秀則 議員 佐藤一廣 議長 菅原道雄 副議長 五十嵐久芳 議員

物価高騰対策に商品券事業を実施

～町民1人当たり1万円分を交付～

12月定例会

町職員定年条例改正

12月定例会は、7日から9日までの3日間の会期中で開かれ、人事案件や条例改正、契約案件、各種会計補正予算など、町長提出案件13議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

高橋秀則議員 医師の定年を75歳と、数年前に続き今回また5年延ばす。国や県ではおおむね65歳で、その後は継続雇用の形が多い。医師不足への対応だとは思いますが、医師の仕事は重労働であり、医師自身の体調そのものや、高齢による判断ミスが起きないか、との危惧もある。引き上げの経緯と他との比較はどうか。

町長 医師の定年は町独自の延長である。院長とも話をし、不安がないわけではないが、町立病院を維持していくうえで、制度で身分保障をしたうえで安心

して勤めていただきたい。院長も他の常勤2名の医師にも了承も受けている。

一般職員給与条例改正

平野勝澄議員 会計年度職員員の待遇は、再任用も含めた改定である。

総務課長 会計年度職員、再任用も含めた改定である。

町手数料条例改正

姉崎園子議員 コンビニと役場庁舎での交付手数料に相違はあるのか。

町民課長 相違はない。

姉崎園子議員 加算が減ることにより町への収入も減ると思われるが影響額はいくらかか。

町民課長 住民票謄本を取る時の影響額で

あり、令和3年度の交付実績を基に算定すると4万4000円ほど、減額になる見込みである。



高中履修等申請費変更要約

佐藤 正議員 解体処分費当初額は、また落札率は。補正は解体費の高騰か処分費の高騰か。

教育課課長補佐 解体費用当初額は、234万6247円。落札率は99・9%。処分量が当初設計に対し増えたことによる補正である。

小松健弥議員 追加分の費用についてきちんと精査されているのか。

補正予算

◆一般会計

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委託料

小松健弥議員 集約都市形成支援事業交付金の使途は何か。

建設課長 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委託料に充てる。

高橋秀則議員 プラン策定にあたり町民の意見を聞くことが大事だ。音頭パレード区間の無電柱化など景観整備や流雪溝の容量を増やしてオーバーフローを防ぐなど、細かい課題がいろいろ考えられる。

町民アンケート等要望を把握する計画はあるか。

光ケーブル移設補償費

小松健弥議員 県事業光ケーブル移設補償費とはどのような内容か。

建設課長 住民等の意向調査を行うことを考えている。



光ケーブル移設工事の様子

企画課長 地域イントラ光ケーブル支障移転工事に充てる。対象は圃場整備事業田代工区の光ケーブル移設補償である。

路線バス代替使用料

小松健弥議員 路線バス代替使用料について説明を。

町民課長 今年度及位線の路線バスを更新予定だが、車両は納期遅れで3月1日納入のため、現時点で故障が相次ぎ発生し、その他の路線バスも含めると当初予算に対しオーバーが見込まれるため補正する。

物価高騰対策商品券

平野勝澄議員 以前の商品券で、商店から現金での支払いを求められたことがあると、町民からの声があった。こうしたケースへの対応は。

企画課長 この事業は商工会への補助事業で町の直轄事業ではないが、具体的な状況等を示してもらえば行政

としても相談に乗る。

菅原道雄議員 物価高騰対策商品券の発行はいつになるのか。使用期間はどの位になるのか。

企画課長 配布時期は1月上旬を予定し郵便局と打ち合わせをして調整している。使用期間は、発行日から2月28日迄とする。

マイナンバーカード

菅原道雄議員 マイナンバーカードの発行状況についてどのようになっているのか。

町民課長 当町の交付率は、11月末50・32%で、件数は3578件である。合わせて、申請率は、62・99%で、4479件である。

菅原道雄議員 マイナンバーカードの交付により地方交付税への影響はあるのか。

町民課長 詳細につい

ては示されていない。**町長** 総務省の講演会において、この話題があがったが、決して差をつけることをしないで欲しいと山形県町村会の各首長から申し出があった。交付率が、少ないから不利益が生じるものではない。



真中学校管理用備品購入

小松正弘議員 真室川中学校管理用備品購入の内容は。
教育課課長補佐 一年生がパソコン教室として使用している教室に

ロッカーがないため設置する。又、来年度入学生する一年生については、通常教室では生徒数が多く現状では対応できないため、図書室を改装しそこにもロッカーを設置するための補正である。

（その他の議案）

（※議案名は簡略表記しています）

- ◆教育委員の任命同意
- ◆地方公務員法改正に伴う関係条例の整備
- ◆条例の制定
- ◆町議会議員報酬条例の改正
- ◆町特別職職員給与条例の改正
- ◆町印鑑登録・証明条例の改正
- ◆国民健康保険特別会計補正予算
- ◆町立病院会計補正予算
- ◆水道事業特別会計補正予算

子育て支援のさらなる充実に向けて



姉崎 園子 議員

町長

関係各課が連携し、総合的に施策事業を展開

議員 当町の子育て支援は孤立などなく一人ひとりにいきわたっているのか。

町長 福祉課では、子育て世代包括支援センターにおいて妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供している。保育施設、子育て支援センターを利用して不安解消を図るなど、保護者との関係づくりに努めている。子育て世帯の生活困窮や虐待、その疑いといった事実があった場合には、児童福祉法に基づき設置している「町要保護児童対策地域協議会」の構成組織である複数の機関が情報を共有し、連携して、ケースごとの対応と支援を行う。障害による学習や生活の困難があり、保育や教育上の配慮が

必要な幼児や児童生徒には、教育委員会に設置している「町特別支援教育推進協議会」を通じて専門的な指導助言を得ながら、保護者との情報共有や相談、医療機関への接続支援など、一人ひとりの幼児・児童生徒の成長と困難の克服、将来的な自立を図るための体制を整えている。ほかに

も、地域団体や子育て支援団体、様々な組織より協力をいただいている。子育て世代を支援し、孤立を防ぐためには、行政だけでなく、社会全体が協力して、子育て世代を見守ることが重要であり、引き続き、各方面に協力をお願いしていく。
議員 紙おむつの支給が必要と考えるがいかがか。
町長 乳児を対象とし

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

町政を問う

（●印は要約して掲載しています）

1. 姉崎 園子 議員……………P5
●子育て支援の更なる充実に向けて
2. 小松 正弘 議員……………P6
●人口減少への対策について
3. 小松 健弥 議員……………P7
●6次産業化の推進状況は
4. 平野 勝澄 議員……………P8
●学校給食費の無償化を
5. 舟生 源氏 議員……………P9
●町道の維持管理に草刈り機械を導入しては

その他の質問

●修学資金貸与制度について伺う
教育長 資金の追加や制度の見直しを行い現在に至る



子育ての必需品=紙おむつ

いづがききたい

一般質問



小松 正弘 議員

人口減少への対策について

町長

□将来に渡り継続実施が必要

議員 第6次町総合計

画の施策で、定住・移住の促進に掲げる将来的な転入者増加に向け、関係人口創出のためのプログラム整備、強化するとあるが、プログラムの内容、令和4年度の指標に対する進捗状況は。

町長 関係人口の創出は、長期的な観点を持ちながら将来に渡り継続実施が必要。移住を

要があるため移住情報

サイトとして「まむろ暮らし」を立ち上げ雪国での暮らしや文化を発信し、あわせて子育てや医療などの各種支援制度についても掲載している。今年度より外部委託した事業についてもミズ汁づくり、郷土料理づくりの体験や雪囲い体験などのツアーを開催し、移住のみならず関係人口の創出にもつながる企画を実施。新たな取組みとして今年7月概ね39歳以下の若手職員10名で、

「真室川町人口減少タスクフォース」を立ち上げた。若い視点から、将来の発想や施策の提言につながることを期待している。15~49歳転入者は目標20人に対し18人、U・I・J相談者は目標15人に対し今のところ13人となっている。

議員 「若者を対象とした地域理解の促進や、地域に対する愛着の醸成、一度町を離れても将来帰郷したいと考える若者を増やしていく。」この取り組みに

「東京真室川会」との交流、食文化への理解を深める「おいしいふるさと給食」、町出身の大学生には「町内産の食品等を提供」し、生活を応援しながら将来的に帰郷するきっかけづくりとなる取り組みを実施している。

その他の質問

町長 関係人口と交流人口拡大のため有効活用できるよう検討を加える



6次産業化の推進状況は



小松 健弥 議員

町長

□協議会として推進方策の検討や販売機会の創出に取り組んでいる

議員 本町において少

子高齢化による人口減少でそれぞれの産業も徐々に縮小傾向にある。田舎であっても元気に長生きし生活できる何か仕組みづくりをしていかなければならない。時代の流れに沿って課題は多岐にわたり多くあると思うが、新庄真室川インターチェンジ開通を契機ととらえ、本町6次産業化の活動や推進状況について4点伺う。

1、本町6次産業化推進本部の取り組み内容とその状況は。
2、6次産業化について具体的な起業に向けて説明会や勉強会、指導会のような取り組みはできないのか。
3、各産業の連携を促す情報共有はできないか。
4、以前地域協力隊が

行っていた「湯ノ前おら家」のように梅里苑内での産直は小規模でも良いので再開できないのか。

町長 1点目と2点目、現在は6次産業化推進本部の生産部会・加工部会・流通販売部会を統合の上、6次産業化推進協議会として推進方策の検討や販売機会の創出などに取り組んでいる。専門的な知識を必要とする職種でもあり、県最上総合支庁農業振興課や山形6次産業化サポートセンターと連携し、指導を仰ぎながら6次産業化に向けた計画作成のサポートや資金、補助事業の活用などの説明を行っている。

3点目、地域経済の担い手である農林業者と中小企業者が互いに経営資源を持ち寄り有

機的に連携する「農工商連携」の取り組みは全国的に広がっており、本町6次産業化推進協議会においても、先進事例を参考にしつつ産業界間の連携について検討していく。

後梅里苑で計画している屋外キャンプ場の炊事場として利用する予定であり、梅里苑内の産直販売は現在も行っているが、施設の活用については指定管理者に任せしていく予定である。

4点目、「湯ノ前おら家」については、今



活用が待たれる旧「湯ノ前おら家」



平野 勝澄 議員

町長

学校給食費の無償化を

給食提供のあり方を検討し、国への要望を強める

議員 県内でも全国的にも給食費無償化に取り組む自治体が増えてきた。令和2年3月議会で同僚議員の一般質問に対し、町長は意義は認めつつ、「財源を町が単独で負担することになり、恒常的に大きな費用が生じることになる。将来的な見通しを含めた町の財政状況を十分に極めながら、さらに検討を進めていく」と答弁しているが、大型事業も一段落し、将来的な見通しはついてきたのではな

いか。この数年の町財政の収支状況は1億円から4億円の余裕があり、小・中学校の給食にかかる経費はおよそ3300万円。この数字を見る限り、無償化は決して不可能ではない。あらためて、近い将来の学校給食費の無償化を求める。

校給食費に対する一部補助、今年度からは路線バスの高校生までの無償化など、総合的に行ってきた。全国1740自治体のうち76自治体が小・中学校とも給食無償化を実施しており、424自治体の一部無償化、一部補助を実施している。小規模自治体を中心に無償化を実施する自治体がある一方で、継続的な大きな財政負担に懸念を持つ自治体も多い。新庄最上8市町村で構成する最上開発協議会

は、令和3年度から国の財源による学校給食無償化に関する制度改革を要望しており、県町村会でも要望している。恒常的に大きな負担が生じる事業なので、将来的な見通しを含めた給食提供方式のあり方を検討するとともに、引き続き国に対して無償化に向けた補助金等の財政措置について要望活動を強化していく。

市町村名	助成対象	助成内容
寒河江市	小学生、中学生	全額助成
鮭川村	小学生、中学生	全額助成
大江町	小学生、中学生	全額助成
西川町	小学生、中学生	半額助成
尾花沢市	小学生、中学生	半額助成

※ 河北町、東根市、新庄市、真室川町、長井市、白鷹町も一部(1食あたり10円~26円)助成。このほか、第3子以降の子への助成や米飯代の助成を行っている自治体もあります。

町道の維持管理に草刈り機械を導入しては

町長

今後草刈り機械導入を検討しながら
適時・適切な除草作業に努めていく



舟生 源氏 議員

議員 町道を維持管理するには相当の労力、経費が発生するであろうと思われる。作業効率を上げる為に、草刈り機械を導入してはどうか。

町長 町が管理する町道は256路線・延長195kmであり、町道の除草については町道と宅地が隣接している箇所や橋梁など、除草を要しない箇所を除いた、集落に近い区域、通行上不可欠な箇所、町道パトロールで把握した箇所など、優先度の高い箇所を基本に、町会計年度任用職員及びシルバー人材センターの作業員により実施している。人家や民地、農地や林地へ飛散しない範囲内で動力噴霧機をトラックに積載し走行しながら除草剤散布による作業、除草剤散

布箇所以外では人力草刈り機(ブッシュ)による作業と2つの方法で除草を実施している。町が行う除草作業のほか、地区においては年2回実施している河川清掃時と、地域づくり活動支援事業費補助金や環境美化里親制度を活用し町道の草刈りや公共施設の美化活動の観点からも協力を頂いている。「高速化で作業効率を上げる為の草刈り機械」を調べてみると東北森林管理局が管理する、林道の除草で使用している軽トラックの荷台に搭載するタイプ、農家が農道の除草用に使用しているトラクターに装着するタイプ、県道の路肩で使用している小型ロータリー除雪機に装着するタイプの3つの草刈り機械が考えられるが

町道除草を行う場合は機械の性能・費用・適応範囲など実態の把握が必要となる。町道除草については、可能な限り除草剤散布により省力化・効率化を図っていることから今後草刈り機械導入を検討しながら引き続き適時・適切な除草作業に努めていく。

その他の質問
●各地区の看板を新調しては

町長 地区との協議や設置箇所の安全性を確認しながら進めていく。
●林道中村川舟沢線を道路舗装しては
町長 地区や受益者など関係者の合意のもと関係課に要望いただくようお願いする。



道路用草刈り機械の例
(出展：北海道開発局ウェブサイト)

11月14日から18日にかけて、町内8会場において議会報告会を開催しました。参加いただきました皆さまから、議会と町に対する貴重なご意見や様々なご要望をいただきました。今後の議会活動へと反映させていただきます。ありがとうございました。

全てのご意見を掲載したいところですが、紙面の関係上、抜粋・要約してご紹介いたします。

開かれた議会に向けて

— 8 会場 で 議会 報告 会 —

- 11月14日(月)
 - ・川ノ内公民館
 - ・東町2公民館
- 11月15日(火)
 - ・ふれあいセンター安楽城
 - ・差首鍋地区生涯学習センターまざれや
- 11月17日(木)
 - ・釜淵地区多目的集会施設
 - ・平岡公民館
- 11月18日(金)
 - ・中央公民館
 - ・及位地区農村環境改善センター



議会の傍聴

問 仕事の関係で議会の傍聴に行けないが、今はインターネット配信での視聴ができる。利用状況は。もっとPRすべきではないか。

答 会議の種類により、令和3年9月議会からお持ちのパソコン・スマートフォンで「議会だより」裏表紙のQRコードからライブ中継、録画配信をご視聴いただけますが、なお周知を図っていきます。

(利用状況)
※R3.9月～R4.9月
(視聴回数)
ライブ中継(264回)、録画配信(644回)

町の財政状況

計908回

問 ①一般会計の歳入で地方交付税が約半分を占めているが、今後人口減少していくと水準も下がるのではないかと。

答 ①一般会計の歳入から歳出を差し引いた約4億6千万円の扱いは、

市町村間の財源の不均衡を調整し、どの地域の住民にも一定の行政サービスを提供できるように、国が財源を保証するもので、市町村が一定水準の行政を行うための費用が、その市町村の標準的に見込まれる税収を超える場合、その不足分が交付される仕組みになっています。

②新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかつた事業などもあります。翌年度へ

道の駅

問 11月20日に東北中央道が新庄真室川ICまで開通するが、道の駅整備の話はどうなっているのか。

答 これまで、県が新庄最上8市町村や経済界などに呼び掛けて検討会を設置し、新庄IC付近への道の駅設置を念頭に議論を進めてきました。現在は、商工会議所と商工会が立ち上げた「新庄もがみのランドマーク検討協議会」を中心に、県、8市町村で議論を深め、

将来を見据えた地域活性化の拠点づくりにつなげることとなっています。協議会は道の駅を設置場所を含む交流拠点の全体像について市町村への提案をまと

高速道路開通

める方針としています。

問 ①及位地区では朴木沢地区にICの建設が予定されているが、新庄方面に行く場合及位より南部の地区からすると、遠回りになり利用しにくくなるのではないかと。

答 ②及位のICの完成に合わせて、トイレなどの施設整備の考えはないかと。

③この度、国道13号泉田道路「新庄真室川IC」が開通したが、恩恵を受けるのは町中部ではないかと。また、名称決定された経過と今後の活用方法は、

①当初IC建設の際、及位地区として朴木沢地区への要望があった経過がありますのでご理解ください。

梅里苑事業

問 梅里苑事業の歳入歳出状況は。一般会計からの繰り入れは。

答 令和3年度では歳入約5780万円、歳出約5654万円、一般会計の繰入金は約5257万円(前年比▲1030万円)となっています。

有害鳥獣対策

問 以前は見かけることのなかつたイノシシが、町内全域で田畑を荒らしている。役場に通報しても対応の説明が不十分で事が運ばない。ワナを設置してもらう手順を教えてください。

答 まずは、野生鳥獣の有害捕獲の窓口となっている役場農林課へ相談してください。農林課では、有害捕獲の許可権者である県総合支庁環境課と現地確認を行い、許可された場合は猟友会会員等で構成される駆除実施隊がワナを設置します。実施隊は、県の許可期間中見回りを行って、捕獲されれば駆除処分まで行います。なお、捕

促進し、産業経済活性化へとつなげていきます。

市町村合併

問 だんだん人口が減少していくと推計されているが、将来的に市町村合併についてはどのように考えているか。

答 新庄市と最上郡では、共同で利用できるものはしていきましようというようなことで定住自立圏構想の取組みを行っていますので、現時点では、郡内はもろろん町議会でも市町村合併について議論になっておりません。

新型コロナウイルスワクチン接種

問 新型コロナウイルス感染症は、いま第8波が来ているといわれ、ワクチン接種も5回目の案内が来ているが、いつまで無料で接種できるのか。

答 新型コロナウイルス

ス感染症のワクチン接種経費は、現在、国が負担していますが、感染症法に基づく類型を引き下げて来年から有料にしたいというような情報もあります。町長からは、「正式な通達はまだ来ていないが、そうならないように要望していく」との説明を受けています。町民の負担が増えないように議会でも要望していきます。

空き家対策

問 町の空き家解体の補助対象が拡大されたが、その成果は。また、相続放棄した空き家はどうに対応されるのか。全国的な問題ならば、国や県の権限で処分できるような法律を作れないか。

答 危険老朽空き家解体補助金は、申請件数、金額ともに年々増加しております。相続放棄

農薬用資材価格の高騰対策

問 肥料、飼料、農薬用資材の価格が高騰しているが、町の支援策はあるのか。

答 農業次期作支援対策事業として、水稲に1500円/10a、園芸作物に最大5000円/10aを補助するための補正予算が10月の

キャッシュレス決済還元キャンペーン

～1カ月の延長を可決～

10月臨時会

会期：10月21日

◆一般会計
キャッシュレス決済導入促進支援事業
 姉崎園子議員 町内では、何件キャッシュレス決済を行うことができるのか。なぜ、Pay Payを選んだのか。
企画課長 50店舗の加入が確認されている。業界最大の株式会社 Pay Pay が全国の自治体に向けて「あなたの町を応援プロジェクト」というキャンペーンを行っている。
小松健弥議員 今補正は12月1カ月延長分、今後未対応の商店が追加導入希望であれば対応可能か、1カ月延長分の周知は行うのか。

◆一般会計
企画課長 泉田道路開通記念と物価高騰対策として1カ月延長する分の補正である。未加入店舗には勧誘を行っている。周知は随時町ホームページやSNSなどを活用し行う。
農業次期作支援事業費補助金
平野勝澄議員 水稲、園芸作物が対象ということだが、中小規模の農家はどのくらい対象になるのか。
農林課長 全ての販売農家が対象である。園芸作物については上限5000円で、ニラ、ネギなど費用を精査して、区分分けして支援を実施する方向である。

議会のうごき

令和4年10月～令和5年1月

- 10月27日(木) 東北中央道新庄・湯沢間建設促進フォーラム
- 28日(金) 最上地区広域連合議会定例会、「最上を拓く高規格道路」建設促進大会
- 29日(土) 町表彰式・町民各賞受賞を祝う会
- 11月1日(火) 県・市町村長・議会議長会議
- 4日(金) 町戦没者追悼式
- 7日(月) 最上県勢懇話会
- 9日(水) 町村議会議長全国大会、豪雪地帯町村議会議長全国大会
- 10日(木) 町村議会議長行政セミナー
- 13日(日) 町婦人芸能祭
- 14日(月)～18日(金) 町議会報告会
- 20日(日) 国道13号泉田道路開通式
- 21日(月) 商工行政懇談会
- 26日(土) 最上地域ふるさと連合会総会
- 27日(日) ふるさと子ども伝承祭
- 29日(火) 真中生ふるさと学習発表会
- 30日(水) 町議会運営委員会、同全員協議会
- 12月5日(月) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会、同臨時会
- 7日(水)～9日(金) 町議会第4回定例会
- 15日(木) 最上町村議会議長会臨時総会、同自治振興研修会
- 16日(金) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会、同全員協議会
- 23日(金) 最上広域市町村圏事務組合議会定例会、最上市町村議会議長会臨時総会、市町村長・議会議長意見交換会
- 27日(火) 最上地区広域連合議会定例会
- 1月7日(土) 新庄青年会議所新年賀詞交歓会
- 13日(金) 町経営者懇談会新年祝賀会

○議会広報常任委員会の開催 (12/27、1/10、1/16、1/18)

◆一般会計
企画課長 泉田道路開通記念と物価高騰対策として1カ月延長する分の補正である。未加入店舗には勧誘を行っている。周知は随時町ホームページやSNSなどを活用し行う。
農業次期作支援事業費補助金
平野勝澄議員 水稲、園芸作物が対象ということだが、中小規模の農家はどのくらい対象になるのか。
農林課長 全ての販売農家が対象である。園芸作物については上限5000円で、ニラ、ネギなど費用を精査して、区分分けして支援を実施する方向である。

◆一般会計
企画課長 泉田道路開通記念と物価高騰対策として1カ月延長する分の補正である。未加入店舗には勧誘を行っている。周知は随時町ホームページやSNSなどを活用し行う。
農業次期作支援事業費補助金
平野勝澄議員 水稲、園芸作物が対象ということだが、中小規模の農家はどのくらい対象になるのか。
農林課長 全ての販売農家が対象である。園芸作物については上限5000円で、ニラ、ネギなど費用を精査して、区分分けして支援を実施する方向である。

灯油購入助成事業
平野勝澄議員 一般財源減額87万5000円とあるが、これを減額しなければ支給額を増やせたのでは。
福祉課長 県の補助金は現行分5000円について半額、特別支援分2500円分については全額の補助が得られるということで、財源を調整した。

陳情

- 建設振興策に関する要望書
 【提出者】(一社)山形県建設業協会
 会長 國井 仁
 - 議員へ配布のみ
 ●沖繩戦戦没者の遺骨収集を推進し、その尊厳を守ることを求める意見書の提出を求める陳情
 【提出者】沖繩戦の「戦争」から学ぶ会
 代表 漆山ひとみ
 - 議員へ配布のみ
 ●安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書の提出についての陳情
 【提出者】県医療労働組合連合会
 執行委員長 渡辺 勇仁
- 請願は案件がありませんでした。

す。その他の場所については、今後提案していきます。

除雪体制

問 ①除雪オペレーター1の負担が多くなっているようだ。冬期間町民が安心して生活できるように、オペレーター確保は大丈夫か。
答 ②除雪車出動の基準は。降っても遅い時間に除雪に来る時もある。

答 ①町は除雪車1台につき2名体制で16班を配置しており、3年度については、一部民間業者に委託しながら除雪体制に万全を期しています。

今年度についても同様に、人員を確保しながら除雪体制に臨んでいるものと考えます。
 ②基準10cm以上の降雪(見込み)により出動しては連続して降り積もると対応が難しい

場合があるようです。

遊具

問 町内に子どもための遊具が少ない。もう少し増やせば子育て環境の良い町になるのではないか。

答 町内では、真室川公園、総合運動公園、梅里苑林間広場に大型の遊具が設置されていますが、真室川公園の遊具は、本年度更新中です。各施設とも、駐車場やトイレ、休憩スペースなどがございませのでどうぞご利用ください。

消防団

問 年々減少しているようだが、団員数は。災害時の出動に影響がないか心配だ。

答 令和3年度当初で団員数は415人となつています。町は、有事の際に団員である従業員の出動に協力いた

だけのよう、協力事業所の登録制度を設けています。また、役場職員で組織する消防隊もあり、率先して現場での後方支援に当たっています。



消防団の訓練風景

学校の統合

問 議会の質問にあるが、児童数減少した場合学校の統合というところが出てくるのか。

答 町の考えは、町民のまちづくり、心のよきところとなつていくことから、統廃合は児童数だけで判断すべき

ではないが、地域、保護者の強い要望があれば真摯に受け止め検討していくとしています。

国道34号の早期整備

問 庄内方面への区間で、冬期間雪崩等の発生により通行止めとなつた場合、国道47号を迂回しなければならず大変不便である。通行止めとならないよう、早期の整備を要望していただきたい。

答 関係機関への要望活動の度に、早期整備についてお願いしています。酒田港を起点とした当町への流通・観光誘客の面でも重要路線と認識していますので、継続して要望していきます。

真室川駅前の土地利用

問 真室川駅前に空き家や空き地が目立ってきました。JAも移転予定で、旧役場庁舎や庄内

銀行跡地もある。駅前の土地利用について、町ではどのように考えているのか。

答 末広町1の公民館を解体するらしいとの話をきいているので、もしそうならば、旧役場庁舎は消防車庫や公民館的に使えるよう要望したい。

答 旧役場庁舎は、耐震性のある部分は解体せず防災消防用施設などとして活用できればとの説明を受けています。庄内銀行跡地については、町が取得して情報発信施設として活用することとしておりましたが、他に活用意向のある方が出てきたことで、民間の利用が優先となったようです。また、駅前周辺は借地が多く、相続や財産権などの課題もあつて、町としてどうしていくかという方向性の決定までには至っていない



旧役場庁舎

ようですが、老朽空き家解体や空き店舗活用への補助、街路灯や歩道の融雪設備の更新など、できる限りのことはしているようです。その他、地域おこし協力隊の卒業生が、元々個人病院だった場所でも新規出店する予定もあり今後に期待したいと思えます。

職員による不祥事の再発防止 に 関し町長へ申し入れ

12月9日（定例会終了後）、町議会は佐藤一廣議長名で町長に対し、職員による不祥事の再発防止に
関し、申し入れを行いました。その内容と町長による回答の全文を掲載し、町民の皆様にお知らせします。

令和4年12月9日
真室川町長 新田隆治 殿

真室川町議会議長 佐藤一廣

職員による不祥事の再発防止に 関する申入書

令和4年6月13日付で懲戒処分とした職員の不祥事について、再発防止に向け職員の綱紀の保持と
粛正の徹底を行い、信頼回復に取り組むとしたことから、関係する
職員の早期復帰についても願って
きたところです。

しかしながら、処分期間終了間際でこの度のマスコミ報道により、
町民から多くの不安と心配する声
が議員に寄せられており、議会と
しても憂慮している状況にありま

す。

信用と信頼の回復によって町民の不安を払拭し、町民が安心して暮らせるよう、また、職員の早期復帰により通常の町政執行がなされるよう、町としてのこれまでの対応と今後の再発防止策について、改めて町民及び議会に対し、速やかに公表していただくよう申し入れたいと思います。



令和4年12月13日
真室川町議会議長 佐藤一廣 殿
真室川町長 新田隆治 殿
職員による不祥事の再発防止に
関し（提出）

令和4年12月9日付けで申入れがありました標題の件につきまして、以下のとおり提出いたします。今後も職員の綱紀の保持と粛正をさらに徹底し、町民の皆様からの信頼回復に取り組んでまいります。

記

1. これまでの経過と町の対応

懲戒処分の事案発生から処分に
至った経過については、これまで
報告したとおりですが、処分後は
係長職員と部下職員が示談に向け
協議中と捉えていたところ、7月
21日に新庄警察署員が来庁し、部
下職員から係長職員を相手方とす
る被害届が提出されたとの連絡が
ありました。警察からは捜査に支
障を及ぼすので口外を慎んでほし
い、との要請があったことから議
会に対しても報告を保留してきた
ところでした。

また、12月3日の新聞報道は、
町への事前の取材や情報提供がな

い中での掲載であったことにつき
ましてもご理解をお願いいたしま
す。
町のこれまでの対応などについ
ては、ハラスメントの有無の調査
や町独自のコンプライアンス研
修、ストレスチェックなどを行っ
てきたところです。

2. 今後の対応について

係長職員については、6か月の
停職期間が終了し本日から復職し
ました。減給とした職場長を含む
両名に対し、信頼回復に向け業務
にあたるよう指示をしたところで
す。

部下の職員につきましては、町
産業医からは、主治医の治療を受
けながら職場復帰を目指していく
こと、との指導がなされておりま
すが、引き続き産業医や保健師、
総務課職員による面談などの取り
組みを継続します。

今後は、例年実施している人事
異動の希望調査の際にハラスメン
トの内容を加えた形で行うとともに
に、産業医、保健師、労使とで組
織している衛生委員会の際にも情
報交換し、職場の実態把握に努め
てまいります。

議長出席の戦没者追悼式にて

あさひ小六年生の「平和への誓い」に参列者涙

平和への誓い

真室川あさひ小学校六年

佐藤 華



今、ロシアとウクライナ
が戦争をしています。それ
も、もうすぐ一年になるほ
ど、長く続いています。私
は、テレビで、ウクライナ
人のお父さんが家族と離れ
て戦場に行き、お母さんや
子どもが安全なところへ避
難するニュースを見ました。
爆弾が町へふり注ぎ、たく
さんの人が亡くなったり、
町が消えたりしているとい
うニュースも見ました。

わたしは、戦争は自分
にとって身近なことではない
と思っていました。でも、
五年生の時に、国語で「た
ずねびと」という物語を学
習して、戦争や平和につい
て考えました。たった一発
の爆弾で、十四万人の人が
亡くなっていることや、
今でも身元が分からない人

がいることを知りました。
衝撃的で、信じられない気
持ちになりました。

わたしの家族の中には、
戦争を経験した人はいませ
ん。でも、おばあちゃんが
ひいじいちゃん、いさお
じいちゃんから聞いた、戦
争の話をお聞かせしてくれま
した。いさおじいちゃんは、
徴兵され、南の戦場へ行き
ました。ジャングルの中で
何日も過ごさなければなら
ず、食べるものが本当にな
らなかつたそうです。どうして
も食べ物がない時は、周り
の草や虫、ねずみやかえる
最後には革靴を食べて、仲
間の人たちと一緒にしのい
だと言いました。戦地に
行った人も、行きたくて
行っているわけではないの
に、死ぬ思いで戦い、悲惨
な思いをしていたというこ
とが分かりました。

それから、戦争の時、真
室川には国軍の基地があっ
たことや、真室川大空襲が

あったことも聞きました。
鉄砲の弾の音が鳴りひびき
空は、カラスの群れが飛ん
でいるみたいに、爆弾で
真っ黒だったそうです。真
室川出身の戦没者が五百
六十人いることも知りまし
た。

私は、「こんな田舎に爆
弾が落ちるわけがない」と
思っていたので、戦争にな
れば、真室川でも爆弾をつ
くったり、爆弾が落とされ
たりするのだと、びっくり
しました。

今、真室川は平和です。
わたしは、友達と遊んだり、
家族と話したり、あつたか
いご飯を食べたりして、笑
顔で楽しく過ごしています。
でも、ウクライナでは、「た
ずねびと」の物語で読んだ
ことや、いさおじいちゃん
が体験したことが、現実に
起こっています。

なぜ、こんなにたくさん
の人が悲しんだり、不幸に
なったりしてしまう戦争を
するのでしょうか。
わたしは、戦争を起こさ
ないためには、片方だけが
よくなるのではなく、平等
になるようにすることや、相

手のことも考えて行動する
ことが、大切だと思います。
わたしは、他の人の意見を
しっかりと聞くようにしたい
です。相手と意見がちがう
時には、話し合い、ゆずり
合いながら、お互いが納得
できるようにしていきたい
です。

わたしは、戦争は絶対に
してはいけないことだと思
います。二度と戦争を起こ
さないためには、戦争がど
れだけ恐ろしいものなのか
を、ずっと忘れないように
することが、とても大切だ
と思います。

わたしは、戦争を経験し
たことがありません。戦争
の恐ろしさは、経験した人
にしか分からないことだと
思います。でも、「たずね
びと」のような物語を読ん
だり、戦争の話を読んだり、
戦争がどれだけ恐ろしいも
のなのかを、語りついたり
して、みんなで忘れないよ
うにしていこうと、大切
なのだと思います。

わたしは、平和のために
戦争を知り、平和のために
戦争を忘れないようにした
いです。

11月4日、町戦没者追悼
式が行われ、佐藤一廣議長
が出席しました。ここで強
い印象を残したのが、あさ
ひ小学校六年生の佐藤華さ
んの「平和への誓い」でし
た。参列した方からの「と
ても感動した。ぜひ町民に
紹介してほしい」の声にお
応えし、その全文を紹介し
ます。

